

令和 5年10月31日14時00分  
近畿地方整備局 淀川河川事務所

カヤネズミ生息地であるオギ原の一部を除草したことを踏まえ、  
今後の再発防止を確認しました。

桂川高水敷において京都府の準絶滅危惧種であるカヤネズミの生息地であるオギ原の一部を除草していたことが判明しました。このことから、地域でカヤネズミの保全に取り組まれ、日頃から助言をいただいている方々※に現地にて立会して頂き、今後の再発防止策についての助言を頂きました。

○主な経緯

- ・令和5年9月20日(水)  
除草着手前に、カヤネズミの保全に取り組まれている方々※と現地を確認し、除草範囲を確認。
- ・令和5年9月27日(水)  
除草を実施。
- ・令和5年10月10日(火)  
カヤネズミの保全に取り組まれている方々※からの連絡で、除草対象範囲外も除草していることが判明。
- ・令和5年10月20日(金)  
カヤネズミの保全に取り組まれている方々※と現地にて立会。今後の再発防止策について助言を頂いた。

○今後について(再発防止に向けて)

- ・現地立会で確認した範囲を確実に明示する。(ポール等で明示)
- ・今回の事例について、受発注者間で情報を共有する。

※地域でカヤネズミの保全に取り組まれ、日頃から助言をいただいている方々

・全国カヤネズミ・ネットワーク・乙訓の自然を守る会

**注意事項)上記の皆様のお勤務に影響する場合がありますため、直接の取材はお控え下さい。  
お問い合わせについては、下記の「問合せ先」にご連絡をお願いします。**

<取扱い>

<配布場所> 京都府政記者クラブ、京都市政記者クラブ

<問合せ先>

近畿地方整備局 淀川河川事務所 副所長 きたの らいふう 北野 頼風 (内線206)

工務第一課長 ながお そうじ 長尾 壮冶 (内線311)

電話番号(072)843-2861(代表)

## 1. カヤネズミの概要

形態	日本で一番小さなネズミで、尾の先端の一部は毛に覆われていない。頭胴長50～80mm、尾長61～83mm、体重7～14g。
京都府内の分布	淀川水系の河川敷、田辺など里山に点在。
生態的特性	本種は5～11月頃、オギ、チガヤなどの高茎草本の葉でつくった地上巢中で繁殖し、冬は地下で巣をつくり生活する。子供の巣立ちは早く約2週間。餌は昆虫や草本の種子など。



## 2. 現場写真

